

2班(北安城駅周辺)

「好アクセスな場所で、にぎやかな庁舎」

計画案のポイント

①駅前であることを活かすとともに、道路整備を行うことで、誰もがアクセスしやすい場所とする。②総合運動公園に近く、国道1号線にもアクセスしやすいため、災害時の防災拠点として有利である。③総合運動公園や学校と連携したイベント等を通して地域活性化を図ることができる。④広大な土地を利用して、幅広い世代が集まるまちづくりを行うことができる。⑤田園風景こそが安城市の象徴であると考え、水遊びや桜、田んぼアート等で、季節を感じることができる。

質疑応答

Q：どのようににぎわい施設を誘致するのか？

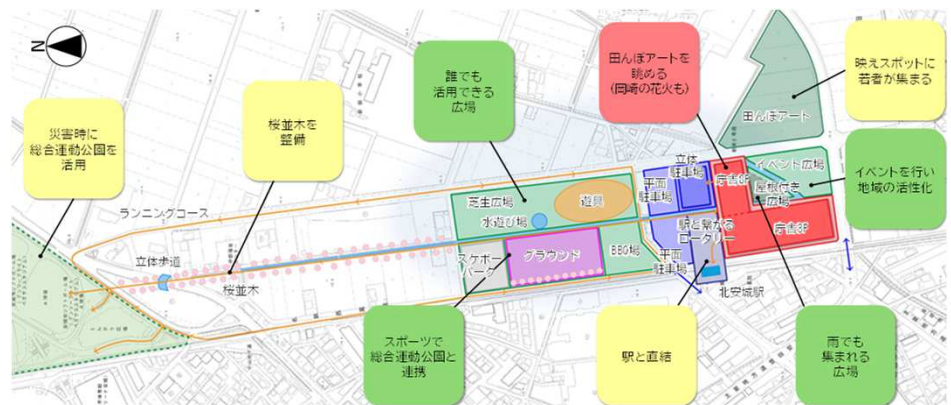
A：イベント広場にキッチンカーを呼ぶなどして、にぎわいを創出したい。

太幡会長の講評

市街地と田園の境界という立地の魅力を存分に引き出しており、建築の提案として高い評価を得られる内容だと感じた。

参加者・傍聴者のコメント

- ・ 田園風景を楽しめる。
- ・ 庁舎と駅の連結は便利で良い。



3班(現位置)

「七夕まつりを盛り上げられる安城市の中心市街地」で実現する「星型の庁舎」

計画案のポイント

①星型の庁舎とし、安城七夕まつりのPRができる。②庁舎の最上階に展望デッキを設けることで景色を楽しめる。③七夕まつり会場と七夕神社のアクセスを改善する。④安城市の中心である利点を活かし、あんくるバスのターミナルを設けることで、各路線間の乗り継ぎの利便性を図る。⑤駐車場の区画数を増やすことで、駐車場不足を解消する。

質疑応答

Q：現在の安城公園の面積は確保されているのか？

A：現状と同等の面積を確保している。

太幡会長の講評

敷地内だけの提案にとどまらず、まちのストーリーの中でシンボルとなる庁舎を検討しており、素晴らしいと感じた。

参加者・傍聴者のコメント

- ・ 安城らしさをPRし、文化や産業を盛り上げているところが良かった。
- ・ 庁舎の星型・流れ星の連絡橋が可愛くデザイン性がある。



4班(三河安城駅北)

「新たな場所」で実現する「とてもA庁舎」 ～ANJO・アグリカルチャー・アドバンス・エース・安心・安全～

計画案のポイント

①「A」は「農業（アグリカルチャー）」「安心」「安全」等をイメージさせる文字である。この「A」をかたどったシンボリックな庁舎としてはどうか。②三河安城駅からの徒歩圏内の立地を生かし、駅と庁舎をつなぐロープウェイ、立体道路、人道橋等、多様なモビリティネットワークを構築する。③広大な土地を生かし、多目的広場やアリーナ等の集客施設を併設し、複合施設としての相乗効果を狙う。



質疑応答

Q：夢のあるデザインだが、建設費について、どの程度のコストアップであれば許容されるのか？

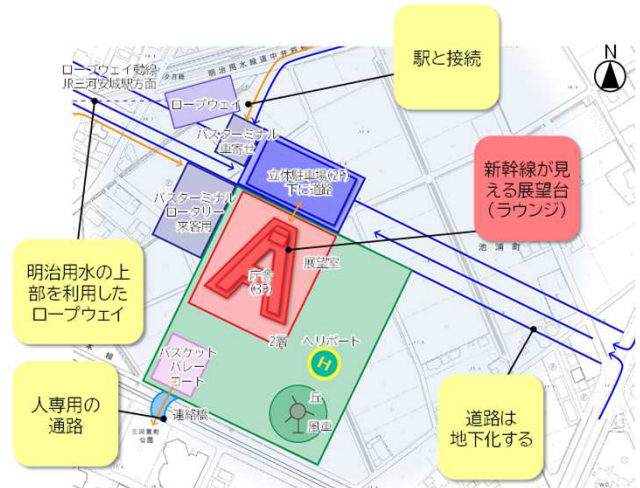
A：耐用年数で割れば、コストは平準化される。可能な限りコストを抑えながらデザインはこだわりたい。

太幡会長の講評

低層で水平線が強調され、屋上が緑化された段状のデザインは「A」の形でなくとも優れたデザインである。

参加者・傍聴者のコメント

- ・コンセプトから建物の形まで一貫している。
- ・多様なモビリティが良い。



5班(現位置) 「真ん中な場所」で実現する「A」な庁舎

計画案のポイント

①中心的存在となるように、現位置（安城市の真ん中）に新庁舎を建設する。新庁舎は、周辺施設と回廊やBRT(*)で結ぶ。サテライト機能や通信を活用する。②誰もが安心・安全に集えるように、回廊はぬくもりを感じられるデザインとし、芝生広場は、災害時に炊き出しや救援物資を配給する場所として活用する。③建物は、安城市のシンボルとなるようなデザインとする。

(*) BRTとは、定時性に優れ、高い輸送能力を持つ次世代交通システムのこと



質疑応答

Q：「A」という形は、建物としてどのように表現しているのか？

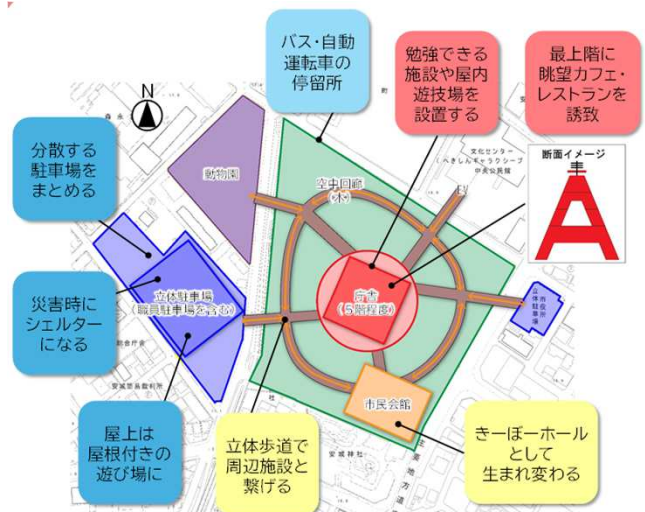
A：安全性や実用性を考慮し、建物の形自体を「A」にするのは難しいと判断した。

太幡会長の講評

市民の憩いの場という新しい庁舎の姿が分かりやすく提案されており「安城リング」のコンセプトは素晴らしいと感じた。

参加者・傍聴者のコメント

- ・回廊で周辺との関係性を持たせている。
- ・キーボードホールがかわいい。
- ・求心性のあるデザイン。



6班(三河安城駅南)

「人とスポーツが集まる場所」で実現する
「ストレスなく新幹線・車で繋がる庁舎」

計画案のポイント

①壁面アートが新幹線から魅力的に見える庁舎や駐車場とする。②立体駐車場2,000台分・平面駐車場500~1,000台分を確保することで、ストレスフリーな広い駐車場とする。③市民にも来訪者にも市の情報が伝わる道の駅のような情報スポットがあると良い。④お風呂(サウナ)や広場があり、ついでに寄れる交流・福祉センターを併設する。⑤キッチンカーを呼べて、みんなが集まれる広場を整備する。



質疑応答

Q: なぜ福祉センターを庁舎に併設したのか?

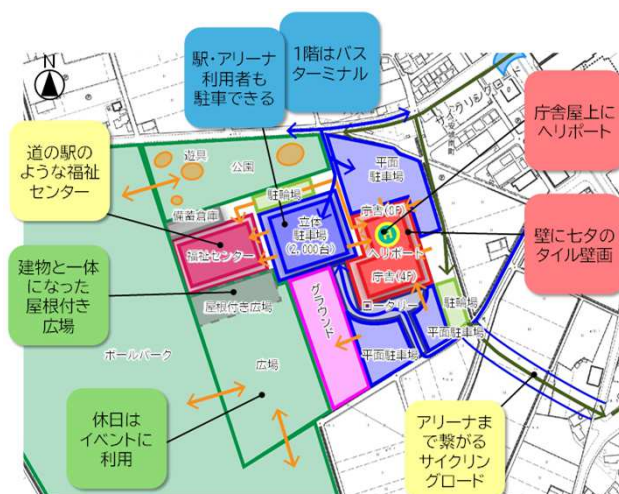
A: 庁舎を身近に感じられ、用事がない時でも立ち寄ることができる場所にしたいと考えた。

太幡会長の講評

「スポーツ」というキーワードでまとめ上げている。身近に感じられる庁舎は、これからの時代において重要だと思う。

参加者・傍聴者のコメント

- ・ 周辺施設との連携が考えられていた。
- ・ 壁面デザインも個性的で良かった。



7班(現位置)

「ここに来たら安城がわかる場所」で実現する
「公園一体化により、未来を創る、人が集まる庁舎」

計画案のポイント

①公園と共にある公園庁舎とすることで、癒しがあり、文化発信を可能とする。また、災害時には防災拠点として機能する。②連絡橋やバスロータリーを整備することで、庁舎、駐車場、バスからの移動をスムーズかつ安全にする。③あんくるバスの全線が乗り入れることで、庁舎を拠点に点在する観光スポットや主要な公共施設等に行けるようにする。敷地内には、市内施設や観光スポットなどの総合案内所を設け、庁舎機能をアップグレードする。



質疑応答

Q: みなさんにとって安城公園とは、どのような場所なのか?

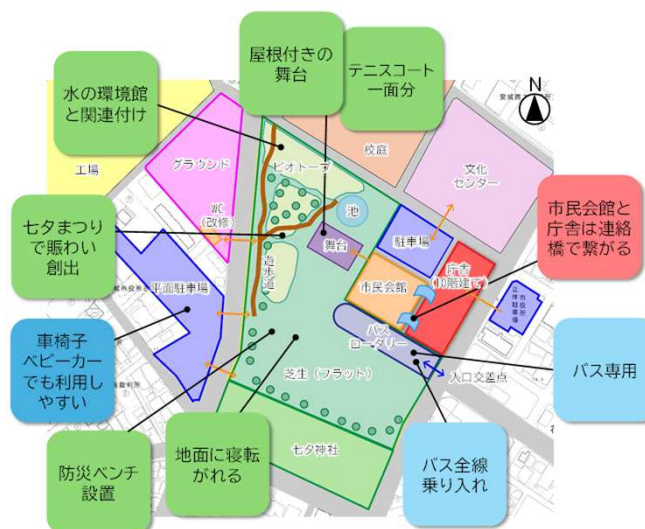
A: 春には桜が咲き、古くから市民の憩いの場である。

太幡会長の講評

建替え計画やコストまで見据えた、現実的かつ合理的な計画になっている。「公園庁舎」というキーワードは素晴らしいと感じた。

参加者・傍聴者のコメント

- ・ 公園庁舎は日常的に集えそう。
- ・ 低予算は本当に大切だと思う。



庁舎整備ワークショップ ふりかえり

1. ファシリテーターによる座談会

テーマ①

庁舎そのもののあり方について考えてみよう。

山田氏：これからの時代、庁舎に求められる機能はどのように変わっていくのでしょうか。

亀島氏：市の職員を象徴するものとして、訪れる市民に「良い職員、良い街だ」と感じさせ、職員の働き方にも繋がるような機能が求められると思います。



三田氏：民間事業者として利用させていた経験があります。その際、複数の部署を行き来し、迷ってしまいました。そのため、部署がまとまっていると良いと思います。



柴垣氏：常滑市の庁舎は、職員の働きやすさや市民の利用しやすさを考慮し、コミュニケーションが取りやすい低層のワンフロアとなっています。

吉田氏：近年では、ワンストップ窓口に対する市民ニーズが高まっていると思います。ワークショップを通して、安城市役所の案内係が素晴らしいという声がありました。新庁舎でもその機能を残して欲しいと思います。

佐野氏：ワークショップを通して、庁舎と人が集う場所をどう結びつけるか議論しましたが、そのような場所を庁舎に設けるべきか、別の場所に設けるか、どちらが正解か答えが出ていません。



テーマ②

各グループが目指した「目的」は、庁舎がないと実現できないのだろうか？

山田氏：庁舎と周辺との繋がりについて、どのように検討されたのでしょうか。

三田氏：平日だけでなく、休日や七夕まつりで広場がどのように活用されるか考えました。公園と庁舎が一体になることで、市民としての愛着を語りやすくなるとワークを通して思いました。



山田氏：4班・6班はアリーナ等との関係性が議論されていましたが、庁舎とアリーナは、



同じ人が利用するのでしょうか。

亀島氏：アリーナ等に人が集まる休日と庁舎を使う平日は別だと考えています。

柴垣氏：相乗効果を期待しましたが、平日に開く庁舎と休日に賑わうアリーナの関連付けは難しいポイントだと思います。

山田氏：みなさんにいただいた提案は、庁舎がないと実現できないことなのか、改めて、提案を見直していただきたいと思います。

テーマ③ 計画案の実現可能性は？

山田氏：現位置で建設する場合、どのような順序で整備を行うべきでしょうか？



吉田氏：班で深い議論はできていませんが、隣接する敷地に市民会館があるため、連動した事業の進め方を検討する必要があります。

テーマ④ 「公園」って何？

山田氏：安城市は、公園が充実しています。みなさんの提案では、どのような目的や利用者を想定しましたか。

吉田氏：周辺の駐車場や市民会館、文化センター等と庁舎をつなぐ「安城リング」を提案しました。「安城リング」では、市役所や周辺施設に訪れたついでに休憩ができると良いという意見が出ました。

佐野氏：平常時はイベントや水辺空間として利用し、災害時には防災拠点となる二面性を持たせました。

亀島氏：班員それぞれの立場で、公園を捉えていました。「家族で遊びに来る場所」「道の駅のように気軽に立ち寄れる場所」「地域の人が集える場所」「アリーナ等を目的に安城市を訪れた方をもてなす場所」などの意見がありました。

山田氏：有意義な意見交換、ありがとうございました。個々の見解が大変参考になりました。

2. グループワーク

「これまでをふりかえり庁舎整備にふさわしい場所について考えよう！」をテーマとして、最終レポートの作成に向けて、意見交換を行いました。



報告書の提出

各班の提案と参加者一人ひとりが作成した最終レポートを報告書として取りまとめ、5月29日（金）に市長に提出し、皆様の思いを伝えていただきました！



発行・問合せ

安城市 庁舎整備課 庁舎整備係 TEL 0566-71-2270(直通) ※9:00~16:00(土日祝日を除く)